

本屋でんすけ 2015 July

にゃわら版

長らくこれに発行。

No.9

楽しい本を
探してみよう



でんすけ
東京国際
ブックフェアにゆく。

Take Free

東京国際ブックフェアに潜入!!

7/1~7/4まで"東京ビッグサイト"

開催される東京国際ブックフェア

今回はそこで"出版ネオブ"の方

「アタの働かしてる出版社の本で、アタが一番好きな本を教えてください。」



...と聞いてみまいた。いつもと一味ちがうラインナップ、お楽しみください。

妻へ、作家へ、女王陛下へ
原文そのままのお手紙125通の
なんと切り製本"活字"が
書いたものまで"載ってます"
(ちょっと怖いぞ...)

大版本
"スッ"

本物の手紙は
(いろんな意味で)
気持ちはいくらも

創元社 ¥3000+税 Mサ>イオ

注目すべし 125通の手紙

ジョン
アッシャー著

スコット・ラファロ

Nサ>イオ

その生涯と音楽

ヘレン・ラファロ・フェルトマン著

若くして亡くなった
伝説のヴァイオリニスト。
その生涯をラファロの妹が
綴った本。現在活躍し
ているヴァイオリニストが
楽譜におこして楽典的に解説も
している。

国書刊行会
¥3400+税



作家の家

西村書店
¥2800+税

創作の現場を訪ねて

フランチェスカ プレモリ＝ドレーレ

文学作家が住まっていた家。

ハミングウェイやコクトー。

ハッセなど有名作家の

家はもちろん。Xジャーナ

作家は"カソ"では

ないのも魅力。

Fサ>イオ



完全な自伝ではないけれど、七命し
世界をさまよったホラー・ニョも彷彿と
させるような短編集。1編読むと
その日は満足できる。続後にコーヒーが
飲みたくなる本。
よく読みはもったいない。



オス×は
"センニ"

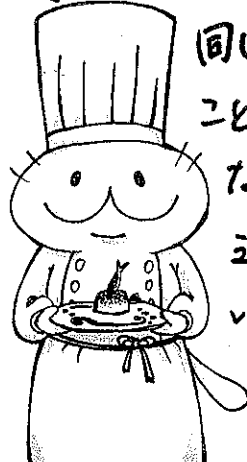
ロバート・
ボラーニョ著

改訳 通話

白水社 Tサ>イオ
¥2400+税

シェフを「つづける」ということ

#川直子著
ミシマ社 ¥1800+税



同じ仕事を続ける、ということ。その良土、かけがえのない土をシェフの話を通して、自分が今やっていることに対して、あじむかい気持ちにほれる本です。

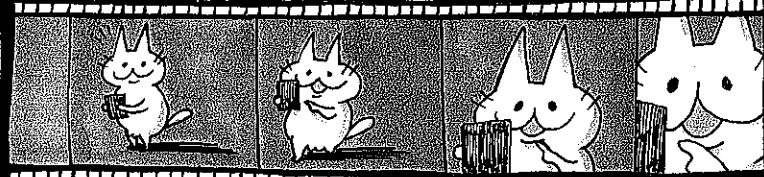
イサノイサノ Wサン

映画もまた編集である

ウォルター・マーチとの対話 ¥4800+税
マイケル・ホンダー著 伊藤善房

「ゴッドファーザー」や「地獄の黙示録」などを手がけた映画編集のマエストロ、ウォルター・マーチに作家がインタビューした本。映像の見せ方によって、人間、こころなほうに感情操作されるのか、とおと3.11=映画を見る目が変わる一冊です。

イサノイサノ



STONER

Aサンイサノ

ジョン・ウィリアムズ著 作品社 ¥2600+税

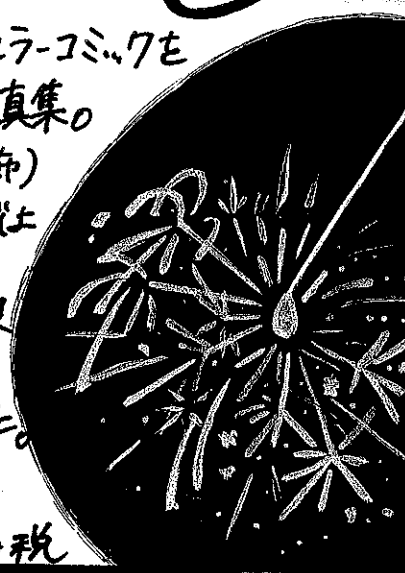
ひとりの教師になった男が死ぬまでの「一生」の話。七十年たつた記者の東江一紀の最後の本でもある。最終ページは東江サンの訳をゴ家族が「入カして完成」してそうす。すまじい翻訳家の執念がうまった本。



写真集 海街diary

龍本幹世

吉田秋生の「バスセラ」コミックを映画化。その写真集の表紙をクロス装(布)にし、フォトガイドとはなく、写真集として成立するもの。普段できないことを目指して作りました。

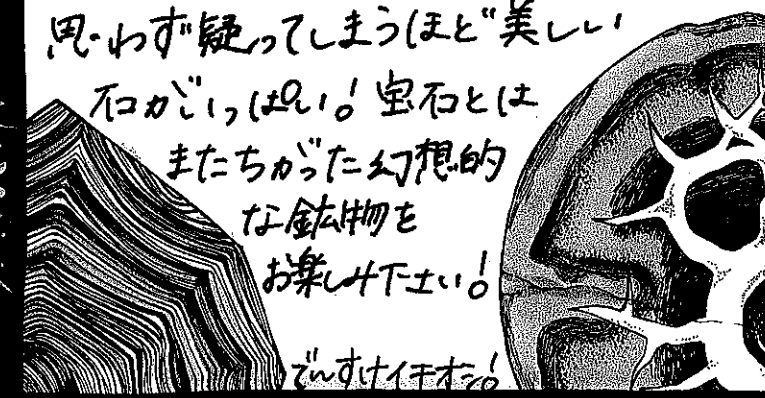


青幻舎 ¥3200+税

不思議で"美しい石の四鑑

山田英春著 創元社 ¥3800+税

「本当に天然なの?! 人工じゃないの?!」と思わず疑ってしまうほど「美しい石がいっぱい!」宝石とはまたちがった幻想的な金物をお楽しみ下さい!



densuke-irayano

densukeのかいぬし

本屋で働いていると、出版社の営業さんには会うことができませんが、なかなか編集さんには会えませぬ。こういうブックフェアのような「本のお祭り!」的なイベントに行くと、普段話せないような人達に会えるのが楽しいです。本、こころなほうにこうやって作る! というキラキラしたお話が聞けて、そういう思いを、お客様にお届けしたいな、と強く感じます。



Twitter: densuke-neko